

硫黄鳥島の火山活動解説資料(平成27年4月)

気象庁地震火山部
火山監視・情報センター
沖縄気象台地震火山課

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
平成19年12月1日に噴火予報(平常)を発表しました。その後、予報事項に変更はありません。

活動概況(図2～図3)

26日に気象庁地球環境・海洋部が海上から実施した観測では、島の北側に位置する硫黄岳火口では、時々ごく少量の噴気を観測しました。中央部に位置するグスク火山火口から、従来から認められている少量の噴気を観測しました。また、硫黄鳥島周辺に変色水は観測されませんでした。風下側で硫化水素臭が感じられました。前回(2015年1月13日)の観測と比べて状況に特段の変化は認められませんでした。



図1 硫黄鳥島 火口位置図と各図の撮影方向

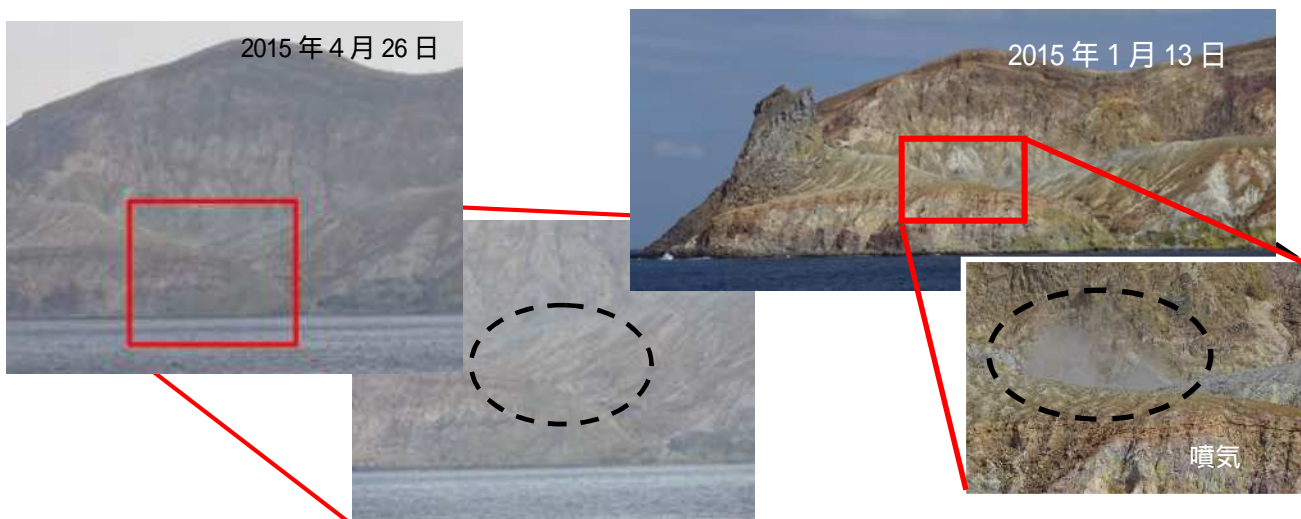


図2 硫黄鳥島 硫黄岳火口の状況(火口南西側から撮影)

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ(<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>)でも閲覧することができます。

本資料中の地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『25000分の1地形図』を複製しています(承認番号:平26情複、第658号)。

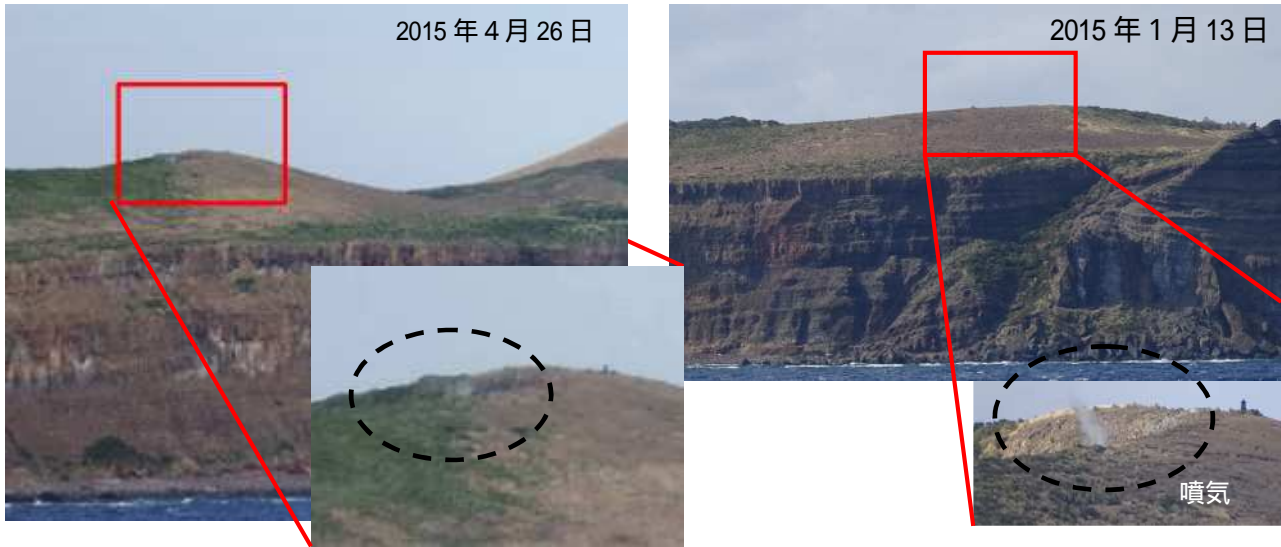


図3 硫黄島 Gusク火山火口の状況(南東側から撮影)